

平成 28 年度第 1 回社会福祉審議会 議事録要旨

日 時	平成 28 年 7 月 4 日（月）午後 2 時から 3 時 40 分まで
場 所	東大阪市役所 18 階 大会議室
出席者	<p>（委員長）関川委員長 （委員）江浦委員、小野委員、小阿弥委員、坂本委員、潮谷委員、津森委員、中西委員、中原委員、永見委員、西島委員、福永委員、藤並委員、松浦委員、松本委員、水口委員、三星委員、森田委員、村岡委員、山田委員、吉田委員 以上 21 名</p> <p>（事務局）平田福祉部長、奥野子どもすこやか部長、清水学校教育部長、安永社会教育部長、植田福祉部次長、小川指導監査室長、久保田生活福祉室長、太田障害者支援室長、高橋高齢介護室長、川西子どもすこやか部次長、奥田子ども子育て室長、関谷保育室長、大辻教育企画室長、北野学校教育推進室長、泉青少年スポーツ室長、赤穂福祉企画課長、松本生活福祉室次長、小櫻障害者支援室次長、大東障害者支援室次長、巽高齢介護課長、福永地域包括ケア推進課長、大西介護保険料課長、早崎給付管理課長、米澤介護認定課長、菊地子ども家庭課長、村野子ども応援課長、栗橋子育て支援課長、浅井保育室次長、山本健康づくり課長、小永吉母子保健・感染課長、福祉企画課 島崎総括主幹、石田主任、入江係員、高齢介護課 片岡総括主幹、力谷社会福祉協議会次長。</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度に策定した各計画についての報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) ひとり親家庭自立促進計画 2. 各計画の進捗状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 (2) 次世代育成支援行動計画 (3) ひとり親家庭自立促進計画 (4) 障害者プラン (5) 地域福祉計画 3. 計画以外の専門分科会の報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 民生委員の審査状況 (2) 障害者福祉専門分科会審査部会の審査状況 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 介護予防・日常生活支援総合事業について
議事要旨	<ul style="list-style-type: none"> ○司会 開会のことば ○福祉部長 開会のあいさつ ○司会 <ul style="list-style-type: none"> ・新委員の紹介、分科会委員交代の報告 ・人事異動の紹介 ○委員長あいさつ <p>【平成 27 年度に策定した計画についての報告】</p>

○事務局

ひとり親家庭自立促進計画について説明

(委員長)

計画、分科会等で検討をいただいた。これからも、計画に沿ってしっかりと取り組むように。特にひとり親家庭のこどもの貧困の問題、重大な政策課題であり、様々な施策と連携できるように検討をお願いしておく。この審議会でもある程度報告いただいて、他の計画とも勘案しながら議論していきたい。

【各計画の進捗状況について】

○高齢介護課

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についての説明

○子ども家庭課

次世代育成支援行動計画についての説明

ひとり親家庭自立促進計画についての説明

○障害者支援室

障害者プランについての説明

○福祉企画課

地域福祉計画についての説明

【委員の意見】

(委員)

認知症安心ガイドブックについて2点気になるところがある。SOS オレンジネットワークの登録があるが、他市で活用されなかったがどうなっているのか。認知症相談員の一覧があるが、どのような基準で対応されているのか。

(委員長)

オレンジネットワークSOSの警察との連携がうまくいっていなかった事案。認知症一覧については医師会より提供されたものである。

(事務局)

オレンジネットワークSOSにつきましては、各市で本人あるいは本人の家族登録をいただきます。行方不明はまず、市内に発信します。まずは市としては登録をすすめます。他市に関しては広域発信させていただいています。他市と連携できるように、様々なことをしないといけない、より多くの方に登録をしていただくよういたします。

(委員)

オレンジネットワークSOS、障害児者にも広げることできないか。その辺はどうなのか。また高齢課部門とは調整がとれているのか。

(事務局)

検討の中で障害児者につきましては、障害児者支援センターが開設されるので、そこを拠点にして考えていこうと思っています。連携は

今後検討していきます。

(委員)

認知症サポーターについて、たくさんところで講座を開催している。サポーターがたくさん誕生したが、できているのか。他市ではサポーターのメール斉配信などがあると聞いている。その後、一般の認知症サポーターの方は進んでいるのか。

(委員長)

支援のネットワークの担い手としてどうなっていくのか。

(事務局)

地域、銀行、警察等協力いただいています。認知症の方が徘徊された場合の訓練をしていただき範囲を広げています。活動の広げ方も検討していきます。

(委員長)

次世代支援でティーンズママがあるが、他市ではない取り組みだが。

(事務局)

ティーンズママということで健康部、子どもすこやか部で連携して、10代の方のハードルがあるのではないのかということで、お母さん同士のネットワークを作るなど、子どもを育てていく力をつけていただく取り組みになります。

(委員)

4月から差別解消法が施行された。地域協議会が大事だと思うが、なかなか周知されないと。啓発が大事。

(事務局)

相談を受けながら、差別のない共生の社会を目指して地域支援協議会でいろいろ協力をいただけたらと考えております。

(委員長)

障害者の方に対しての差別は、差別する側は、差別しているという意識をしていないことが多々ありますので、市民が自ら考えるきっかけが大切。

【専門分科会の報告について】

○事務局

民生委員の適否の審査状況についての説明

○事務局

障害者福祉専門分科会審査部会についての説明

【その他】

(委員)

避難行動要支援者名簿の活用に関してバラバラに一人の方を探す。シビアな事態を想定しながらケースによってはきちんとあるのではないのか。もうひとつは、当事者を交えての継続改善協議会をすべき。課題として認識を。

○事務局

介護予防・日常生活支援総合事業について

【まとめ】

(委員長)

地域福祉で小地域ネットワークがありましたが、声かけであったり、サロンであったりミニデイであったり実績を有効な資源としてください。

○福祉部長
閉会のあいさつ

○次回は2月21日(火)午後2時より開催予定